

博物館だより



No.157

令和元年12月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

◆博物館NEWS ①今年の「文化のみやこづくり」がスタート 文化月間記念発表会が行われました!

「文化芸術の秋」となる10・11月に行われる町内外の文化事業を広く広報・支援する「みやこ町文化月間」。これを記念する発表会が10月12・13の両日、みやこ町豊津公民館で開かれ、多くの参加者で賑わいました。

「伝統文化」と「新たな文化」の成果が展示・舞台の形で発表され、多くの人を魅了しました。開催に尽力された皆さん、お疲れ様でした!



▲文化協会(豊津エリア茶道部)の皆さんから来場者に伝統の一般一銭が振舞われました



▲小川知事からの表彰状を受け取る故人ご子息・卓英さん

②みやこの俳句文化が高く評価されました 故松ともこ氏 県地域文化功労者表彰

11月10日にサン・グレートみやこで行われた第27回県民文化祭記念式典で、町内彦徳の松清トモ子氏(俳号ともこ)が福岡県地域文化功労者として表彰されました。

三重塔まつり記念少年少女俳句大会の選者や今井祇園連歌の会での活動など、50年を超える地域に根ざした文芸振興の取組が高く評価されたものです。

◆講座教室催し物ガイド 12月の歴史講座

【漢詩紀行講座】

12月7日(土) 9時30分～

【古文書講座】

12月14日(土) 10時～

【古典かな講座】

12月21日(土) 9時30分～

【みやこ学講座】※現地見学会を予定

12月22日(日) 9時～

※見学会等は別途ご案内します。
※日程等変更となる場合があります。

年末休館のお知らせ

博物館では館内整理と燻蒸作業のため、左記の期間休館いたします。この間の博物館および文化財業務に関することは、左記へお問合せ下さい。なお、新年は1月4日(土)から開館いたします。

・休館の期間

12月24日(火)～1月3日(金)

(28日以降は通常の年末年始休館)

・休館中の問合せ先

☎3333115 (豊津公民館)

11月の業務日誌から

11月7日(木)、豊津小学校4年生が、郷土の功労者、佐々角太郎の学習の中でお米づくりについて学びました。授業では、学芸員がお米作りの歴史や技術の変遷について説明した後、昔の農具、「モッコ」を使った体験学習をしました。

11月11日(月)、ハワイ島福岡県人会の皆様が博物館を訪れました。英語を交えた説明の中で、町出身で世界を舞台に活躍した人物や世界遺産をはじめとした町の豊富な歴史遺産に驚きの様子でした。

11月3日(日)、豊前国府跡公園で「第8回豊前国府まつり」が開催され、ステージ発表や出店等に多くの来場者が訪れ賑わいました。地元国作区をはじめとする実行委員や協力者の皆さん、お疲れ様でした!

11月6日(水)、東京都から吉住健一新宿区長が来館されました。新宿区は漱石山房を復元して記念館を建設するなど「漱石のまちづくり」に熱心です。区長には小宮豊隆記念展示室をじっくりご覧頂きました。



▲お米づくりの歴史と苦労を詳しく知ることができました



▲みやこ町の歴史と意外な接点を発見することができました



▲午前の部で元気なダンスを披露してくれたCPCの皆さん



▲漱石研究にも熱心な区長を井上町長がご案内しました

「文化のみやこづくり」プロジェクト 第7回 みやこ町古墳まつり

イベントレポート

— 記念絵画・作文コンクール最優秀作品&まつりスナップのご紹介 —

古墳をはじめとする郷土の豊かな文化資源を活かしたまちづくりを目指す学びの祭典「みやこ町古墳まつり（10/20〔日〕開催）」今年も「新元号令和とみやこ」をテーマに各種催事（歴史たんけんウォーク・記念芸能上演&講演会）で賑わいました。テーマゆかりの郷土の再発見で、また一つ町の魅力を見つめることができました。



▲入賞された皆さん、おめでとうございます！



▲グランプリ受賞絵画「はく力がある生立の山立」屏川小6年 廣木 愛

歴史たんけん作文 最優秀賞
わたしたちの町、みやこ町の歴史

屏川小学校 六年 濱江 葵

わたしは、六年生になって初めて歴史について勉強しました。社会で歴史の学習が始まったばかりの時は、正直、歴史の学習はしたくありませんでした。総合的な学習では、屏川、勝山、豊津のそれぞれの地域に古墳めぐりに行きました。屏川の古墳めぐりには行きたくありませんでした。なぜかという、歴史の学習はきらいだったからです。

まず、みやこ町歴史民俗博物館の学芸員の井上さんにお話を聞かせてもらいました。そのときにわたしたちの学校、屏川小学校の校庭から、約百三十年前の牛乳のびんや、八十〜九十年前のピールのびん、約五十年前のコーラのびんが出てきたそうです。わたしはその話を聞いて、とてもびっくりしました。

次に、御所ヶ谷神籠石に行きました。最初は神籠石がなにかわかりませんでした。神籠石とは、久留米の高良山の列石が古くからそう呼ばれていたことになりました。実際に行ってみたら、わたしの身長何倍もの高さがありました。とてもはくりよくありました。こんなに石をつみあげられる昔の人は、とてもすごいと思いました。また、御所ヶ谷神籠石をみに行きたいです。

次に、勝山地区の遺跡をみに行きました。勝山地区について、心に残ったことは、橋塚古墳と綾塚古墳をみたこと

とです。古墳に入ったら、とてもさむかったです。なんで古墳のなかはこんなにさむいんだろうと疑問に思いました。学芸員の井上さんが、古墳がある場所ほだいたいじしんがあっても、被害が少ない所だと話していました。昔の人は、そこも工夫しているんだなと思いました。

最後に、豊津地区についてです。わたしは古墳めぐりのなかで一番豊津地区が楽しかったし、おもしろかったです。そのなかでも、徳永川ノ上遺跡が一番心に残りました。徳永川ノ上遺跡は、三十年前に一回発掘調査が行われています。そのときに、弥生時代の終わりごろの遺跡や王のはか、つりばりなどが何個もみつかったそうです。王のはかとセットでみつかるのが、鏡・けん・まが玉だそうです。豊津の徳永川ノ上遺跡には今でも、王さまのおはかが残っています。

わたしは、古墳めぐりに行って、最初は歴史の学習がきらいだったけど、古墳めぐりに行ったら、歴史の学習がとても好きになりました。社会の日本の歴史の学習も、もっと歴史が好きになれるように、もっともつとがんばりたいです。社会の日本の歴史の学習は、どの時代にだれが、何をしたのかを覚えるのが大変だけどがんばります。これからは、みやこ町の歴史や日本の歴史にくわしくなって、もっとみやこ町についても日本についても調べてみたいです。

まつり会場で見られた、ふるさとの魅力の「(再)発見と学び」「ゆかりの芸術・文化」のようす



▲豊前国府跡で「万葉の散策路」について解説



▲「梅花の宴」をイメージした豊前神楽「花」の上演



▲太宰府発見塾長・森弘子先生による文化講演